

都市環境創成コース案内2027

岡山大学工学部工学科環境・社会基盤系



工学部工学科環境・社会基盤系都市環境創成コースは、自然に対する畏敬の念を持ち、美しく豊かな国土と持続可能な社会づくりを使命とします。

このコースでは、社会基盤システムの計画的な活用と工学的なイノベーションによって、自然災害等の被害を減らし、安全な都市・社会の構築を行うと

ともに、我が国が交流・交易の促進によって世界経済の発展に対し継続的に役割を果たしていくための社会基盤システムを構築する土木及び建築に携わる人材を養成します。また、地域の個性が発揮され、各世代が生きがいを持てる社会の礎の構築に貢献する人材を育てます。

入学者選抜実施方法

学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課さない)、一般選抜(前期日程)、国際バカロレア選抜及び私費外国人留学生選抜を実施します。入学者選抜は系ごとに実施され、2年次からコースへ配属されます。一般選抜で課す科目は以下のとおりで、**都市環境創成コースへの配属を希望する場合は、物理が必須です。**

【一般選抜(前期日程)】

| 大学入学共通テスト | |
|-----------|-----------------|
| 国 | 国 |
| 地歴 | 地、日、世 から1つ |
| 公民 | 公論、公政、地歴C |
| 数 | 数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数B・数C |
| 理 | 必修:物、選択:化、生から1つ |
| 外 | 英、独、仏、中、韓から1つ |
| 情 | 情Ⅰ |

| 個別学力検査等 | |
|---------|-------------------|
| 数 | 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C |
| 理 | 必修:物、選択:化、生から1つ |
| 外 | 英 |

取得可能免許

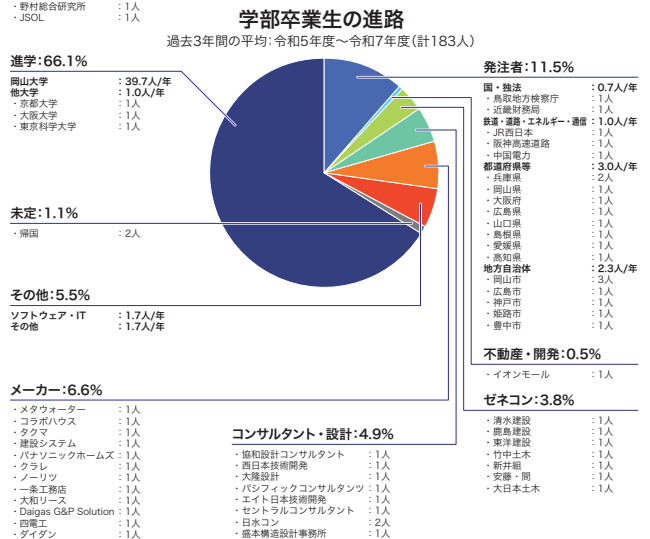
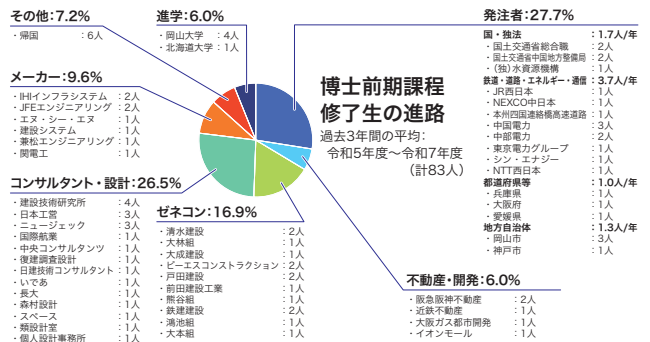
- 高等学校教諭一種免許状(工業)

資格

- JABEE認定プログラム修了(技術士第一次試験免除)
- 測量士(実務経験を要します)
- 一級建築士受験資格(免許登録には実務経験を要します)

大学院

- 一級建築士の免許登録に必要な実務経験要件となるインターンシップを実施します。



構造



木質構造設計学研究室

CLTなどの先進的な木質材料を活用し、地震に強く、持続可能性に優れた建築を目指しています。木質構造に加え、木とコンクリート、木と鋼を組み合わせたハイブリッド構造にも取り組み、合理的で効率的な構造と美しく魅力ある空間の実現に挑んでいます。



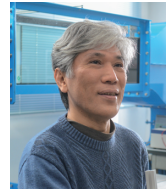
槌本敬大 教授
R8.8着任



アルワジャリ ハモード
准教授

鋼構造設計学研究室

橋梁などの鋼構造インフラは主要な都市基盤です。鋼構造の基礎知識だけでなく、次世代の点検技術など鋼構造における世界最先端のスマートインフラ技術の他、橋梁の空力振動を応用した発電による最新のGX/DX技術などを学べます。



比江島慎二
教授



木本和志
准教授

水理



水工学研究室

気候変動に伴う豪雨や巨大地震による津波など、社会に甚大な影響を及ぼす水災害が発生しています。水災害を防止・軽減するための社会基盤を整備し、安心して暮らせる持続可能な社会を実現します。



吉田圭介
准教授



赤穂良輔
准教授

地盤

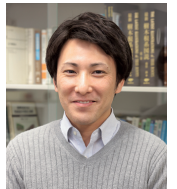


地盤・地下水学研究室

豪雨などが引き起こす土砂災害による被害を少なくするために、地盤および地下水を調査して事前の予知や対策を行う技術の研究開発を行っています。

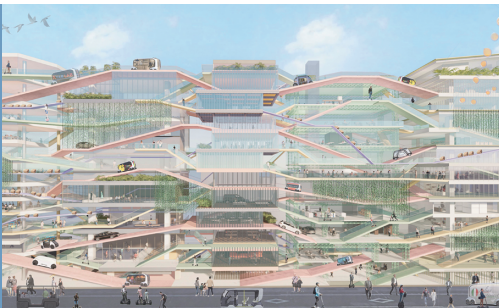


小松満
教授



古川全太郎
准教授

意匠



建築設計学研究室

生活空間が拡張し、都市と地域の境界や距離が曖昧になっていく現代において、建築の在り方も拡張しています。新しい時代に呼応する建築空間とその設計手法を考察し、その土地や地域社会に融合する建築デザインの実践を行います。



川西敦史
准教授

歴史・景観学研究室

地域の歴史や文化・風土、先人たちによる技術や思いを明らかにすることによって、それらを活かした個性豊かな地域づくり・まちづくり、景観・インフラ整備をめざします。



樋口輝久
准教授





建築計画学研究室

建築空間から集合住宅、施設計画、都市空間の計画や、建築に関わる歴史・計画・法制度について、世代を超えて受け継がれる地域の文脈や文化を念頭に置きながら、国内外のフィールドワークを通じて教育研究を行います。



堀裕典
准教授



橋田竜兵
講師



都市・交通計画学研究室

人口減少や少子・高齢化が進むなか、持続可能な都市の実現が重要な課題となっています。都市計画や交通計画の視点から、地域の実情に応じたまちづくりや交通環境の改善に取り組み、安心・安全で利便性が高く、活力ある地域社会の実現を目指します。



橋本成仁
教授



氏原岳人
准教授

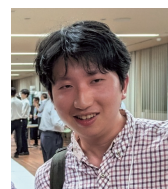


木質資源利用学研究室

カーボンニュートラルを実現するためには適切に森林を管理し、そこから生産される木材を有効利用することが重要です。そのために接着技術を用いて高性能な木質材料の研究開発を行っています。



高麗秀昭
教授



須藤竜大朗
助教



コンクリート構造設計学研究室

高度経済成長期に建設された多くの構造物で劣化が顕在化しています。持続可能な発展を実現する社会を構築するために、新設の構造物だけでなく、既存の社会基盤を長持ちさせる研究開発を行っています。



綾野克紀
教授



藤井隆史
准教授

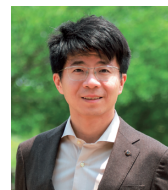


都市・建築環境学研究室

持続可能な地球を維持しつつ、快適な都市環境を実現するために、これから構築していくべき都市や建築、さらには関連するエネルギーシステムやエネルギーリテラシーの在り方を明らかにするための研究・教育を行っています。



鳴海大典
教授

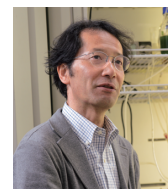


魏誠浩
助教



水質衛生学研究室

衛生的で持続可能な都市環境を築くために、都市と環境間での物質循環に着目しながら、新しい水処理技術、水環境の保全技術など、環境を構成し生命維持に欠かせない水の質に関する研究を行っています。



永禮英明
教授



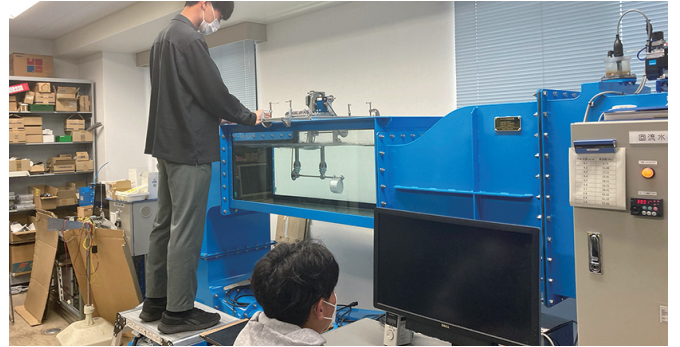
木造部材の構造実験



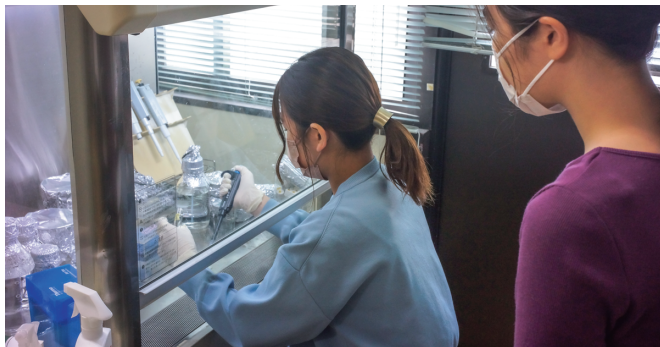
建築物の設計実習



地形情報の測量実習



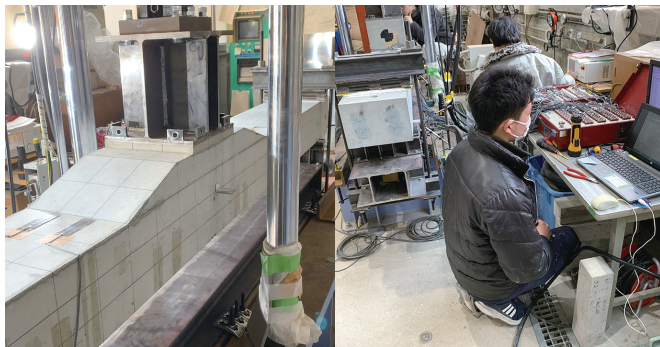
潮流発電の模型実験



水処理技術の開発



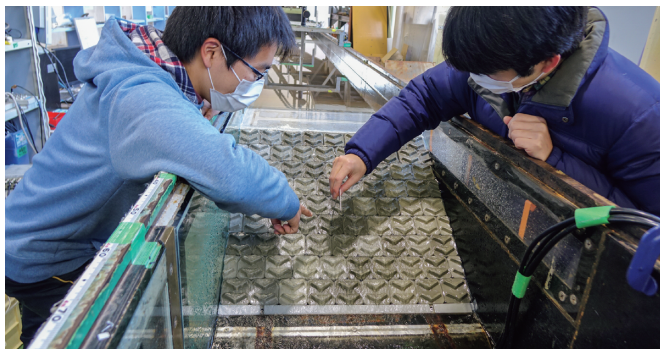
UAVによる地形情報の収集



長持ちする構造物の開発



降雨による斜面の崩壊



壊れにくい河川堤防



CLTを用いた木造建築の教材

